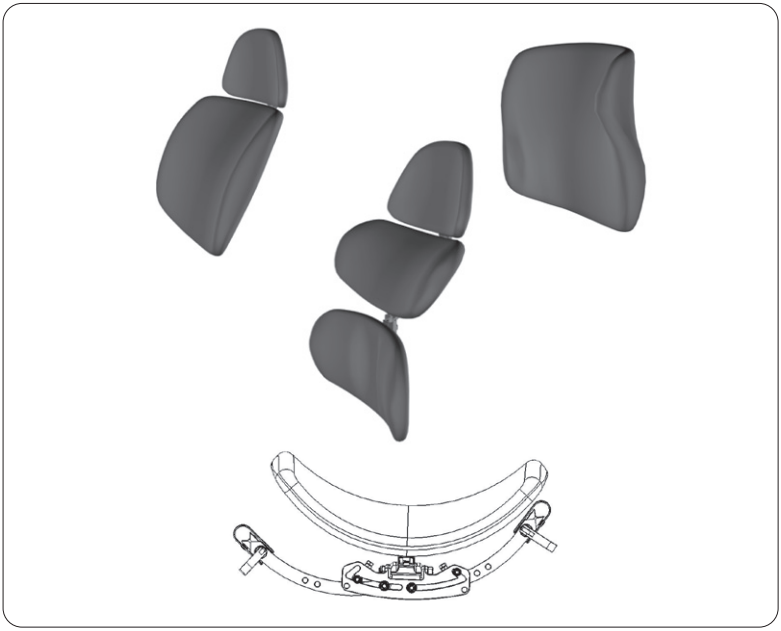
Vトラック

取扱説明書



この度は『Vトラック』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本製品の機能を生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解ください。その後、大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください。

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などにより予告なく変更する場合があります。
必ずご購入された製品に梱包されている取扱説明書でご確認ください。

パシフィックサプライ株式会社

転載複写厳禁
※Kマークは川村義肢株式会社の登録商標です。
※製品に関するお問い合わせは本取扱説明書最終ページをご参照ください。

取扱説明書 Vトラック バックサポート システム

もくじ

1. 安全管理とメンテナンス
   1-1　安全管理 ····· 3
   1-2　洗濯とメンテナンス ····· 4
   1-3　システム概要 ····· 5
   1-4　取り外しと交換 ····· 6
2. 取り付け
   2-1　取付金具の取り付け····· 7-11
   2-2　中央マウント（CMU）とアーム（AM）の組み立て····· 12
   2-3　中央マウント／アーム（CMA-SIZE）の取り付け····· 13-14
   2-4　バックサポートセグメントの組み立て ····· 15
   2-5　バックサポートの取り付け····· 16
3. バックサポートの形状の調節
   3-1　調節範囲（標準バックサポートの場合）····· 17
   3-2　バックサポートの形状を調節する―調節範囲····· 18
   3-3　バックサポートの形状を調節する―分割バックサポート····· 19
4. バックサポートの位置の調節
   4-1　高さ調節····· 19
   4-2　バックサポートの角度調節 ····· 20
   4-3　シートの深さ調節 ····· 20-21
   4-4　非対称的な調節 ····· 21
5. バックサポートの取り付け
   5-1　バックサポートの装着、安定と緊張について ····· 22-23
   5-2　軟部組織と床ずれ····· 23
6. 安全管理
   6-1　安全管理のチェックリスト····· 24-25
7. 適合表
   7-1　バックサポート選択のめやす····· 26
8. 保証書····· 27

1. 安全管理とメンテナンス

1−1　安全管理

絵表示について

この取扱説明書では色々な絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々に加える恐れのある危害や損害を未然に防ぐための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよくご理解の上本文をお読みください。

⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ●この取扱説明書で説明されている製品は、医師やセラピスト、車椅子販売店などの専門家が適切に取り付け、調節してください。
- ●この取扱説明書は、使用者、その適用や使用に関わる全ての方向けです。
- ●全ての機械設備と同様に、誤用や間違った適用をすると、使用者や他の方にけがを負わせることになる場合があります。
- ●多くのモジュラー式システムのように、システムの設計限界を超える構成を組み立てることは可能です。しかし、その取り付けは多くのベースとなる車椅子の安定性に影響を与えます。
  医師やセラピスト、車椅子販売店などの専門家は責任を持ってリスクアセスメントと安全に使用するための説明・機器の組み立てを行ってください。
- ●緊張の強い方、身体の大きさや背が高い方には、4つのポイントでの取付金具の使用、または付属品を追加して固定することが必要になります。22ページから23ページをご覧ください。
- ●リクライニングとティルト機能のような高度な調節機能の際には、バックサポートと付属品の取り付けを強化する必要があります。その場合、追加のハードウェアが必要になります。
  22ページから23ページをご覧ください。

1−2　洗濯とメンテナンス

取付作業が完了しましたら、下記のことをチェックしてください。

1. 全てのネジがしっかりと締められていること。
2. 全てのワッシャーとロックナットが揃っていること。
3. 全てのロックナットがしっかりと締められており、ネジに緩みがないこと。
4. バックサポートの取り外しと交換がスムーズで簡単であること。

上記の項目は定期的にチェックしてください 。

洗濯に関する諸注意
標準カバーは、ケイフォーム（発泡ゴム引き）加工された布地で作られており、防水加工がされていません。もし液体がかかった場合は、直ちに湿った布でふき取ってください。
またカバーは洗濯機による洗浄が可能です。その場合は下記を必ずお守りください。

交換用カバーや、防水加工カバーも販売しております。詳細は、Vトラック製品カタログをご覧ください。

1−3　システム概要

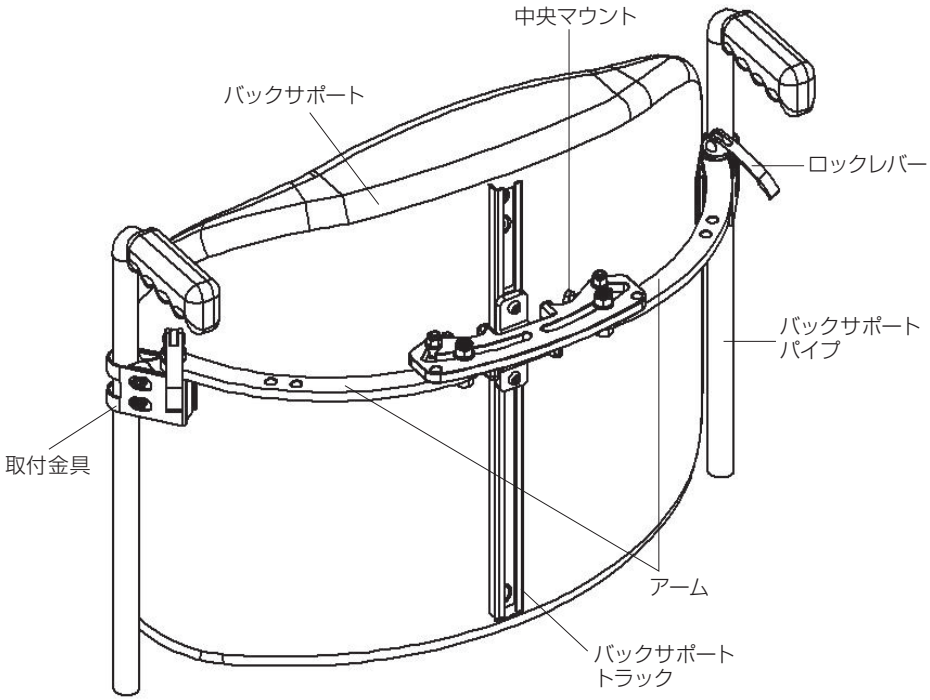


図 1：Vトラック　システム概要

システムは下記部品により構成されています：

◆両側のバックサポートパイプ部に、取付金具が取り付けられています。
◆アームは、ロックレバーを通じ、各取付金具に接続されています。
◆アームは、バックサポートトラックに固定されている中央マウントによって、接続されています。
◆バックサポートは、豊富なサイズと形状を取り揃えており、幅広い種類のVトラック製品および他社メーカー製品とも互換性があります。（他社メーカー製品を使用する場合はその製品の取扱説明書を参照し、正しくご使用ください。）

バックサポートと付属品の全サイズについては、個別にご注文していただくことができ、バックサポートシステム全体を組み立てることができます。サイズと品番はカタログ等をご参照ください。
※本製品の耐荷重は75kgです。

1−4　取り外しと交換

車椅子の移動時や折りたたみ時のバックサポートの取り外しや交換は下記の手順に従ってください。

Vトラックバックサポートの取り外し

◆Vトラックアームの両端にあるロックレバーを、図2に示されているように、ロック解除位置まで垂直に十分に上まで引き上げてください。

◆Vトラックアーム両外端の下の持ち手を持って、上方に均等にゆっくりとシステムを持ち上げ、取付金具から取り外します。

◆車椅子のフレームからシステムを完全に取り外します。

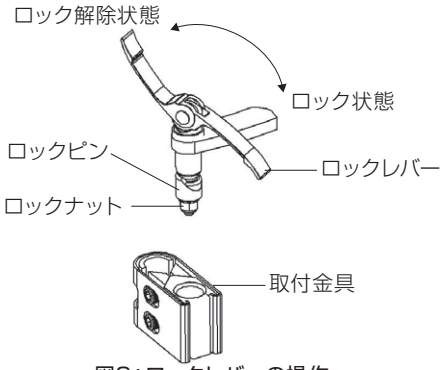


図2：ロックレバーの操作

Vトラックバックサポートの取り付け

1. 両ロックレバーのロックが解除されていることをご確認ください。
2. Vトラックアーム外端部の下の持ち手を持って、システムを均等にゆっくりと下げながら、車椅子に固定された取付金具に入れてください。
3. ピンが取付金具の穴に入りましたら、しっかりと下方に押し下げてください。ピンが完全に穴に納まっていることを確認してから、ロックレバーの先端がアームよりも下方になるように押し下げてください。これでシステムは、車椅子にしっかりと固定されました。
4. 車椅子に座る前に、バックサポートがしっかりと固定されていることをご確認ください。

⚠注意　**下記のような場合、ロックレバーの硬さを調節する必要があります。**

●お客様の力および操作スキルに適応させる。

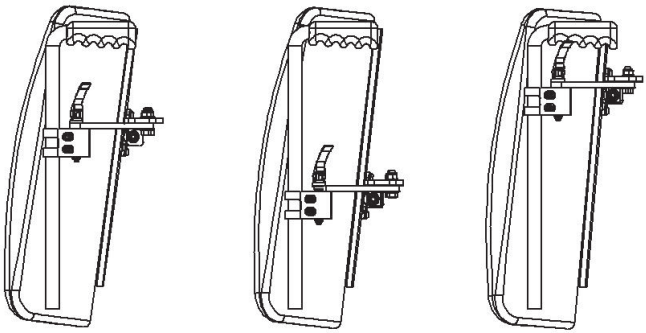
●バックサポートの保持力を最大限にする。

※ロックレバー下部のロックナットの締め具合でロック/ロック解除に必要な力を変更できます。
変更方法は25ページをご覧ください。

2.取り付け

2−1　取付金具の取り付け

取付金具の最も適した位置を決めてください。バックサポートパイプに障害物など制限要因がない場合は、取付金具の最適な位置は、ほぼ図3Aに示される位置になります。通常、この位置はバックサポートトラックの下部から上部までの長さがおよそ6：4の位置になります。また位置は個々の使用者の体重や動きによって異なります。取付金具の上下に起こり得る回転力のバランスを保つようにしてください。



3A　　3B　　3C

図3：バックサポートの取付位置

最適なバランスはバックサポートパイプの障害物や他の理由により、必ずしも装着できるとは限りません。図3Bまたは3Cのような取り付けが必要とされた場合、3Bの上部または3Cの下部に補助アームを使用してください。また、4つのポイントでハードウェアを追加することで過度の力にも対応出来るようになります。詳しくは、22ページから23ページをご参照ください。

標準取付金具の取り付け （MB-R-SIZE）

1. メーカーの推奨する手順に従って、車椅子から既存のバックサポートを取り外してください。
2. 5ミリの六角レンチを使用して、二つのネジを取付金具のクランプバンドから取り外します。そして、プレーンウェッジとネジ付ウェッジとピンブロックを取り外してください。（図4）

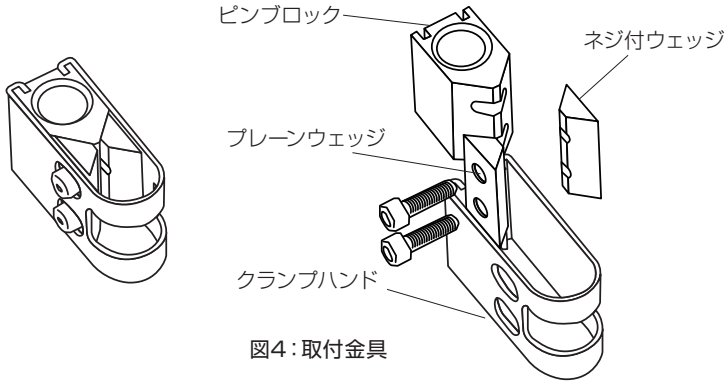


図4：取付金具

3. ネジ穴が車椅子の外側に向かっていることと、最終位置合わせが可能なことを確認し、バックサポートパイプの適正な高さに取付金具を一つ、取り付けます。2つ目の取付金具を、最初に取り付けた金具の反対側の約50ミリ下方の位置に、同様の要領で取り付けます。（図5）

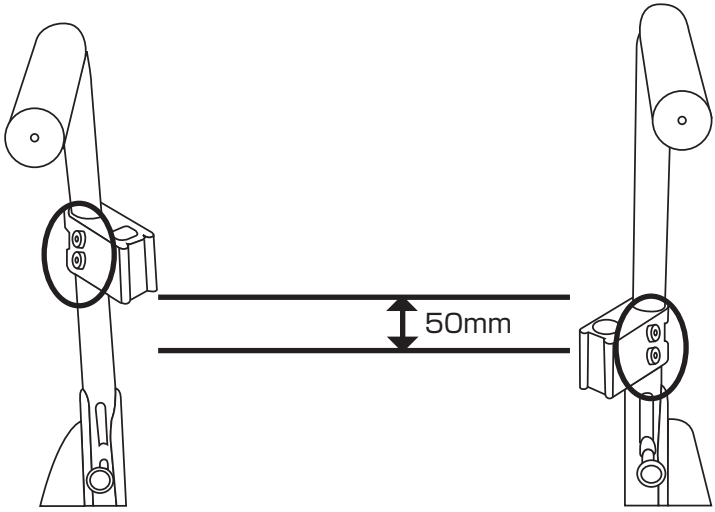


図5：ネジ穴の向きと取付位置

4. 取付金具は、車椅子の前方、または後方に並列配置で使用されます。できれば、取付金具は、約45度の角度で内側に向かうようにしてください。（図6）
   バックサポートパイプが円形でない場合は、対応する専用ブロックは回転できませんが、バックサポートパイプの前方、または後方に取り付けることができます。（図7）

図6：車椅子後方への取り付け

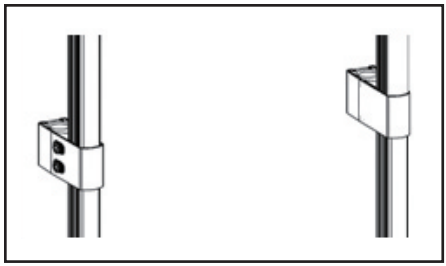


図7：車椅子前方への取り付け

5. この時点では、ネジを締めすぎないようにしてください。取付金具が回転する程度の適度の締め付けにしてください。

ユニバーサル取付金具 MB-R-UE

内容：MB-R-UE

・直径22ミリバックサポートパイプ用クランプバンド	2個
・ピンブロック	2個
・プレーンウェッジ	2個
・ネジ付ウェッジ	2個
・締め付けネジ	4個
・直径25ミリバックサポートパイプ用の直径25ミリクランプバンド	2個
・直径19/20ミリバックサポートパイプ用の25ミリクランプバンド使用のスペーサーシェル	2個

MB-R-UE取り付け：

直径の異なるバックサポートパイプに適合させるためには、スペーサーシェルが付いたクランプバンドを追加して使用してください。その際、ウェッジに接触しないように正しい位置に取り付けてください。（図8）

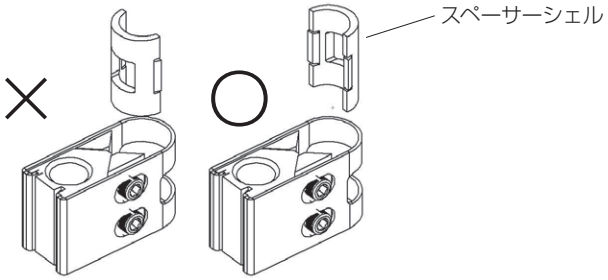


図8：スペーサーシェルの向き

その他の取付方法に関しては8、9ページと同様です。8、9ページを参照してください。

NETTIおよびEtac車椅子用取付金具MB-NT の取り付け

内容：MB-NT

・NETTIミニ車椅子	
バックサポートパイプ用 クランプバンド	2個
・ピンブロック	2個
・プレーンウェッジ	2個
・ネジ付ウェッジ	2個
・締め付けネジ	4個

MB-NT取り付け：

NETTIミニ取付金具は、バックサポートパイプの前方もしくは後方に、図9と図10で示されているように、平行配置で取り付けてください。
Vトラック胸部サポートをNETTIミニに適合させる場合、通常、前方の位置に入れる必要があります。

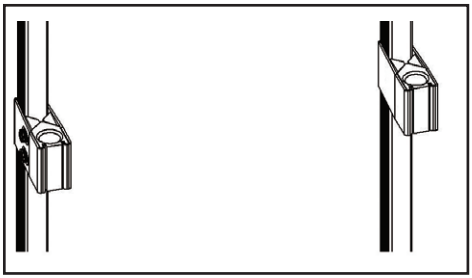


図9：車椅子後方への取り付け

図10：車椅子前方への取り付け

その他の取付方法に関しては8、9ページと同様です。8、9ページを参照してください。

2−2　中央マウント（CMU）とアーム（AM）の組み立て

バックサポートを取り付けるためには、中央マウント（図11）とアーム（図12）を組み立てる必要があります。
中央マウントとアームがあらかじめ取り付けられている場合は次ページへ進んでください。

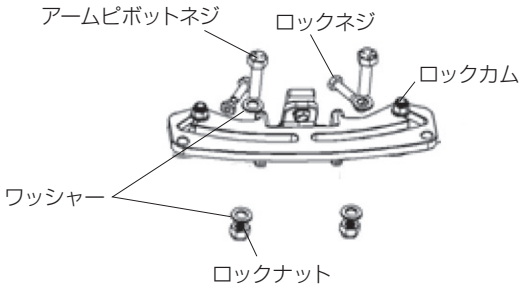


図11：中央マウント

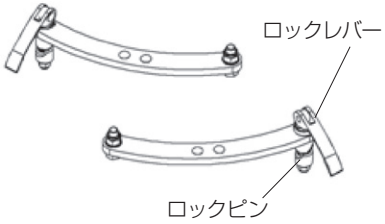


図12：アーム

中央マウントとアームの組み立て：

1. 中央マウント（CMU）に同梱されているアームピボットネジを使用して、アーム（AM）を中央マウントに図13に示されるように組み立てます。ワッシャーとロックナットを必ず使用してください。

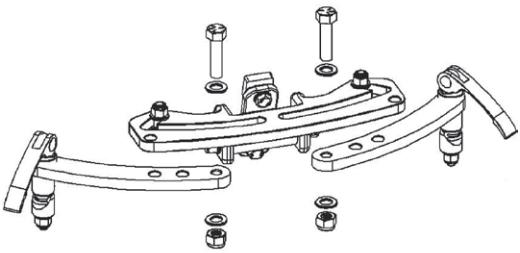


図13：アームの組み立て

2. 車椅子の座幅に適した寸法へアームの長さを設定してください。
3. アームが最前部の位置にくるようにして、ロックカムで止めてください。
   また後で調節ができるようにするために、軽く締めてください。

2−3　中央マウント／アーム（CMA-SIZE）の取り付け

組み立てられた中央マウント／アームは、最も適合しやすい設定にて発送されています。
取付金具が標準幅（26センチ、38センチ、43センチ、もしくは50センチ）の車椅子に図で示されたように取り付けられている場合、ほとんど調節することなく、取付金具角度に取り付けることが可能です。
車椅子幅が上記の標準サイズと異なる場合、または取付金具を別々に取り付ける必要がある場合は、中央マウント／アームを調節する必要があります。
そしてバックサポートを取り付けた後はバックサポートのポジショニングは、中央マウント／アームの調節が必要になることがあります。

中央マウント／アームと取付金具の取り付け：

1. 8〜11ページの要領で取付金具を取り付けます。

2. 中央マウント／アームのロックピンの片側を、1つ目の取付金具に入れます。
   2つ目のロックピンと反対側の取付金具が、一直線上になるように合わせます。
   （図14）

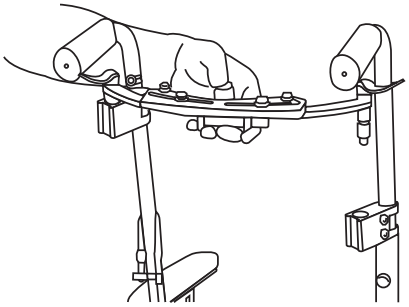


図14：中央マウント／アームの取り付け

3. 1つ目のロックレバーを閉めてください。そうすると中央マウント／アームがしっかりと固定されます。2つ目の（低い方の）取付金具を2つ目のロックピンが完全にかみ合うまで上へスライドさせてください。あるいは、1つ目の取付金具のネジを緩めて、全体の機構とその1つ目の取付金具を2つ目の取付金具に結合するまで下げてください。（図15）

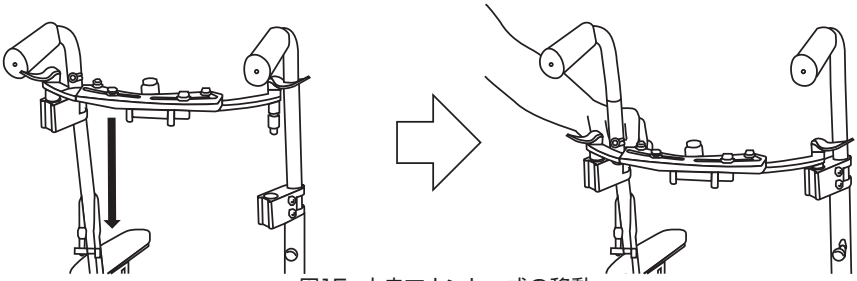


図15：中央マウント一式の移動

4. 2つ目のロックレバーを閉めてください。

5. 装置を取り外すことができることと、両ロックレバーを開けたとき、容易に取り替えることができるかを、チェックしてください。それらが容易でなく、うまくいかない場合は、取付金具が水平でない、もしくはロックピンが完全に直線上で並んでいない可能性があります。取り外しと取替えがスムーズで容易になるまで、調節を続けてください。（図16）

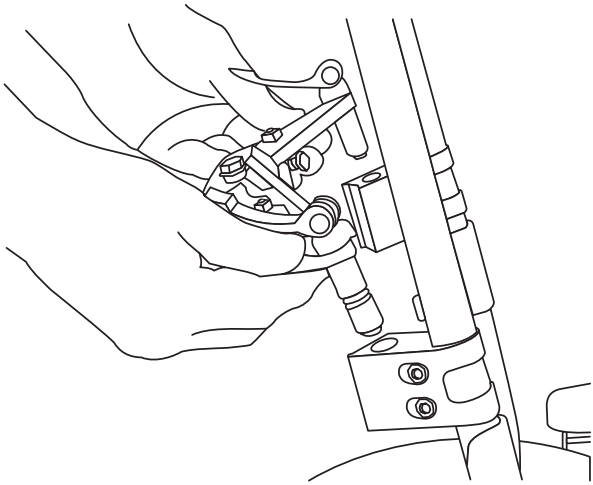


図16：取り外しの確認

6. バックサポート取り付け後に、更にポジショニングができることを考慮しながら、全てのネジを締めてください。

2−4　バックサポートセグメントの組み立て

すべての範囲の中で、サイズや症状の適用が、図17aにある標準バックサポートへ部品または付属品をつけることで、広がります。

AXXISバックサポートシリーズは、組合せ式もしくは分割式として構成することもできます。通常は、胸部および腰部は別々になっていますが、図17bの調節可能ヒンジを使用することで、接合することができます。

分割バックサポートは接合可能です。接合することにより、システムの高さを高くすることができ、サイズと形状の適合可能な範囲を大幅に広げることができます。更に、セグメントは、ご希望の形状に合わせて上部と上部、上部と下部、および下部と上部を接合することが可能です。

1. 分割バックサポートを接合するにはシステムヒンジ（SH-SD）を使用してください。ヒンジネジはバックサポートトラックの安全ロック穴に収めるための十分な長さがあるので、組み立てを考慮するためには、十分ネジを緩めてはずしてください。図18をご覧ください。

2. 始めに、ヒンジを真っ直ぐ一列に並べた状態で、両ヒンジねじをしっかり締めます。

3. 車椅子にシステムを取り付けます。

4. 隣接した分割バックサポートの間の角度を調節するため、10ミリスパナで2つのヒンジネジをまわして、ネジをゆるめます。ヒンジを取り外す必要はありません。

5. ヒンジが互いに滑りあうようにするため、ヒンジ内側の歯を考慮して少しヒンジを離してください。

6. ご希望の位置になるように、分割バックサポートの角度を調節してください。

7. 10ミリスパナで、両ヒンジネジを締めて、ヒンジをロックしてください。

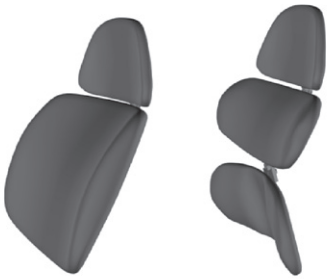


図17a　　図17b

図17：バックサポートの組み合わせ

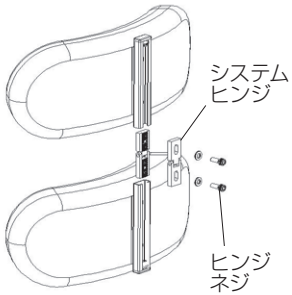


図18：システムヒンジ

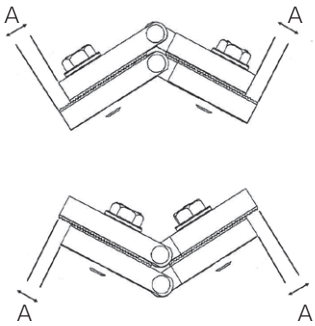


図19：システムヒンジの調節

⚠注意　ヒンジは、下部もしくは突出部に均等に取り付けて、調節してください。（図19）

2−5　バックサポートの取り付け

トラックから保護用のエンドキャップを外します。トラックスライダーをバックサポートトラックの下へ差し込みます。トラックに沿って、中央マウント／アームをちょうどトラックの半分位のポイントにあるガイドポジションへ動かします。高さの設定がしっかり固定され、姿勢が確かです。（図20）

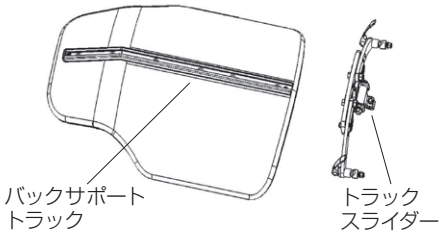


図 20：バックサポートの中央マウントの 取り付け

バックサポート一式を、下へさげていきます。そうすると、ロックピンは十分に取付金具に入ります。ロックレバーを閉めます。バックサポートは、姿勢を調節する用意が整いました。（図21）

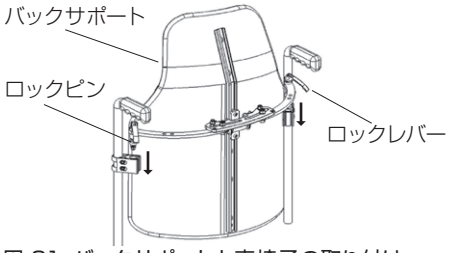


図 21：バックサポートと車椅子の取り付け

分割バックサポート用の中央マウント／アームは、通常、下から2番目の分割バックサポートに取り付けられます。バックサポートの拡張または追加の分割バックサポートを加える前に取り付けてください。いくつかのケースでは、現在の回転力を生じるバランスをとるために、最も低い分割バックサポートに取り付ける場合もあります。（図22）

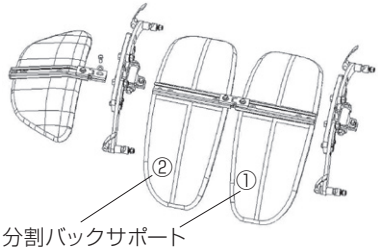


図 22：分割バックサポートの取り付け

延長バックサポートまたは追加の分割バックサポートを付け加える前に、ロックピンを十分に取付金具に入れるため、バックサポート一式を確実に取り付けマウントに取り付けます。ロックレバーを閉めると、バックサポートは姿勢を調節する準備が整います。
バックサポートの拡張、またはさらに分割バックサポートを付加するには、まず2つの分割バックサポートの取り付けが終わった後が便利です。（図23）

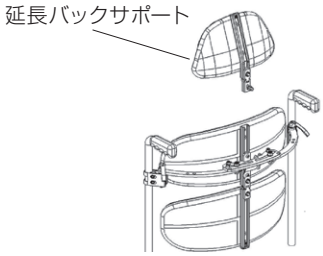


図23：分割バックサポートと車椅子の取り付け

3.バックサポートの形状の調節

3−1　調節範囲（標準バックサポートの場合）

4つの内部水平ストラップの張りを調節することで、図24のような様々な形状に調整することが可能です。

各AXXISバックサポートは5つの調節部分があります。図25の中央ゾーン（1）は、上部から下部へと広がっており、バックサポートの矢状面方向の形状を調節します。

またそれらストラップの張りを調節することで、張り状態を柔らかい状態から硬い状態へと変更することができます。

この張りのメカニズムは、てこの原理を使用し、調節を容易にし、微細で正確な調節を可能にいたします。

調節部分は、胸部の高さに2つ（2と3）及び骨盤の高さに2つ（4と5）の調節可能なウィングがあります。

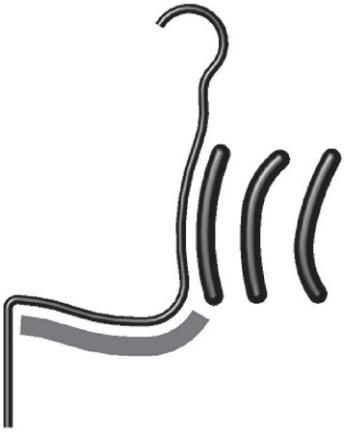


図24：ストラップの張り調節

図25は、使用者から見て右側の胸部ウィング（ゾーン2）を内側へ最大限に調節し、他のウィング（ゾーン3、4＆5）を最大限に外側へと調節した状態を表しています。
これら全てのウィングは、各ウィング用のネジを調節し、個別に調節をすることが可能です。ネジ調節により容易で正確な微調節ができるようになっており、必要に応じて幅を対称または非対称の形状へ調節できます。
適正な側面サポートを提供するだけでなく、ウィングの調節はバックサポートの全体の幅を狭くし、より良好なサポートを提供することにも用いられます。

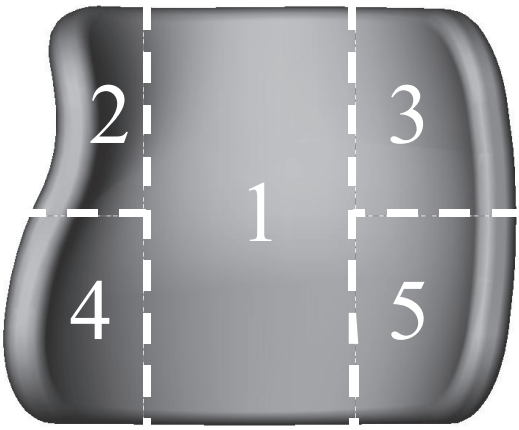


図25：バックサポートの形状の調節

3−2　バックサポートの形状を調節する−調節範囲

調節ゾーン 1

図26のように、バックサポートの後方から操作するには、バックサポートシェルの後部が見えるように、カバーを開けます。
ストラップを調節するには、まずベースからストラップをねじってひっぱることでストラップテンショナーを解除します。次に、ご希望のテンションになるまで矢印の方向へひっぱります。
テンショナーをロックするには、新しいポジションでそのベースを押し戻します。

図26：ストラップの張り調節

調節ゾーン 2

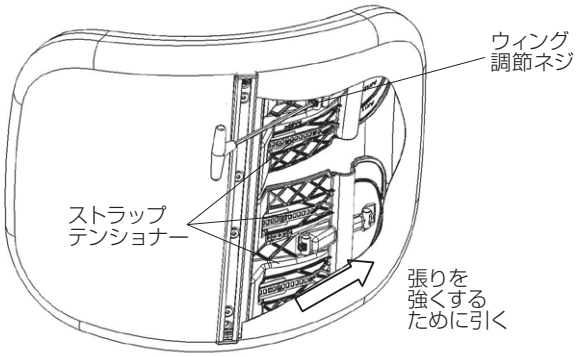


図27：最大50cmまでのすべての標準バックサポートと、分割バックサポートのバックサポートの調節方法

⚠注意　**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。**

- ●調節幅には決まった範囲があります。この範囲を超える動きは、機械的な制限がかかり、止まります。これらは、適正な力の量に対しては効果的です。バックサポートの適正な配置および機能のために、これらの限度範囲にご注意ください。
- ●全ての熱可塑性物質に共通の特性である、ゆっくりとした変化は不可避であることをご了承ください。内側に最大限に曲げて調節されたウィングは、解除されても直ちに元の状態に戻らないことがあります。この現象は、暖かい環境下よりも寒い環境下で更に顕著です。
- ●適正な温度環境下において、全ての調節作業を行われることをお勧めいたします。

3−3　バックサポートの形状を調節する―分割バックサポート

図28：分割バックサポートの
組み合わせ

内蔵側方サポートとモジュラー方式の組み立てにより、高さ、幅、体幹の傾きと側方サポートの部品を組み合わせ、適合させるために使います。

図29：症状に対する調節例

広い範囲の背骨の形状に対応した様々な分割サポートを使います。ユニークなVトラックのハードウェアが、上方と下方とを分割させることで別々に姿勢保持することが可能となり、側彎症または腰椎前彎過度のような複雑な症状に対応します。

4.バックサポートの位置の調節

4−1　高さ調節

バックサポートの高さを細かく調節するため、図30の「A」にある2つの高さをセットするネジをゆるめます。その後、バックサポートを新しい位置に上下へ動かし、「A」のネジを締めます。

もしこの調節で、著しく中央マウントの位置が変わるなら、車椅子のバックサポートに取付金具の位置を定める時に、高さの調節が必要になる場合があります。

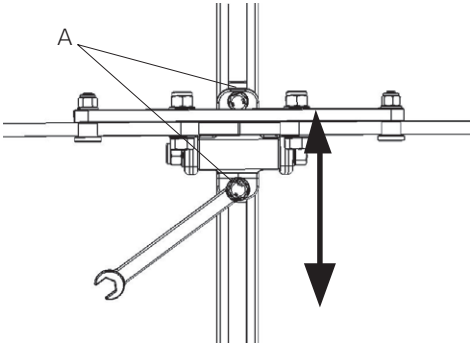


図30：バックサポートの高さの調節

4−2　バックサポートの角度調節

図31の「A」にある2つのネジを左右それぞれをゆるめます。バックサポートを図32で示されているような希望の位置へ、前方または後方に動かし、両方のネジを再び締めます。

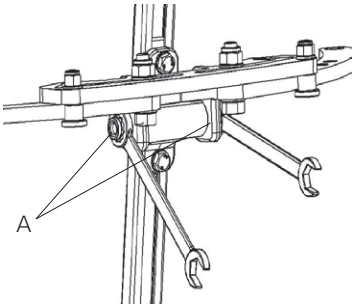


図31：バックサポートの角度調節

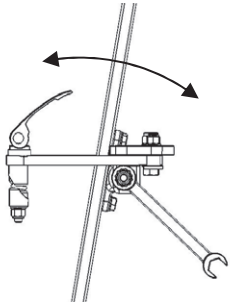


図32：バックサポートの角度調節

4−3　シートの深さ調節

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

●アームの移動を含む何らかの調節をする時には、ロッキングレバーが解除されているポジションにあるかを確かめ、取付金具で自由に回転できます。

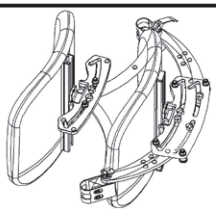


図33：シートの深さの調節

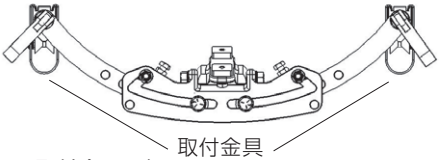


図34：取付金具回転

シートの深さは、取付金具を回転すること（図34）で変えられます。それらは標準の(後方の)位置から逆側の最前進位置になるまで、互いに平行になるまで調節範囲があります。どんな中間的位置も選択できます。

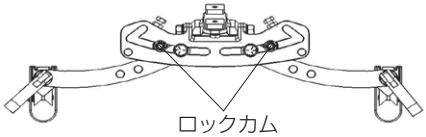


図35：バックサポートの前出し

車椅子のシート上に、バックサポートをさらに前方へ動かすために、Vトラックアームを前方へ回転すること（図35）で、さらに変えることができます。ロックカムで最終のポジションを確保してお使いいただけます。

シートの深さは、取付金具を回転させること（図36）で大きくなるので、標準の位置（バックサポートパイプの後ろ側）から最も後方のポジションになるまで動かすと、互いに平行になります。どんな中間的位置も選択することができます。

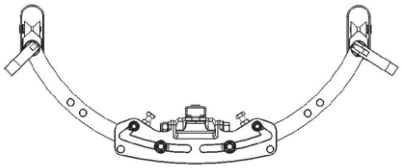
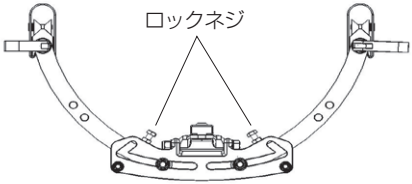


図36：バックサポートの後ろ出し

シートの深さは、Vトラックアームを後方へ回転すること（図37）で大きくなるので、バックサポートはまた後方へ動きます。これは、ロッキングポジションから収納ポジションへ、ロックカムの配置変更が必要になります。ロックネジで最終のポジションを確保してお使いいただけます。



カムを収納するポジション
図37：ロックカムの収納

アームの後方への動きは、前方ポジション（図38）で取付金具を含めて調節する場合があります。ロックネジで最終のポジションを確保してお使いいただけます。

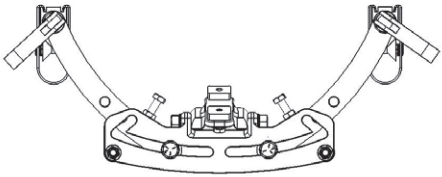


図38：前方ポジション

4−4　非対称的な調節

アームピボットネジとロックレバーをゆるめて、バックサポートを右または左へ回旋します。（図39）

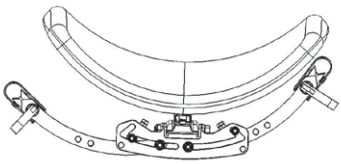


図39：バックサポートの回旋

バックサポートは、左、右へと車椅子のバックサポートパイプ間の限られた範囲を横移動します。（図40）

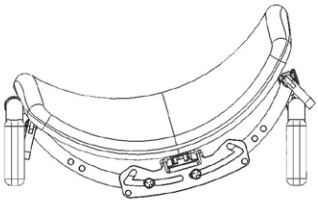


図40：バックサポートの回旋

5.バックサポートの取り付け

5−1　バックサポートの装着、安定と緊張について

体重が重い、又は緊張性が強い（伸展パターン等）、またはこれらの要因が組み合わさることで生じる力に対してバックサポートを固定します。

もし使用者の体重が重い場合や、使用者の車椅子にティルト機能、背臥位に出来るほどのリクライニング機能があれば、それらからの追加力を受け止める為に、バックサポート上部へ追加のアームの取り付け、または2セットの中央マウント／アームと取付金具の使用が必要になります。その取り付けポイントは最も高い、または最も低い、実用的なポイントになります。これはまた、随意的または非随意的な伸展により生じる力を阻止することができます。

セカンドアーム（SAS15 またはSAS17）の典型的な取り付けには、標準バックサポートまたは分割バックサポートを使用しています。セカンドアームの端は、素早く回転力をフレームに移すために正しい位置にあることが必要です。セカンドアームは、アームの端にある溝を通り、テープとベルクロを使って固定されます。セカンドアームのストレートとクランクバージョンは、異なったバックサポートに適していて、バックサポートの上方または下方に使用される場合があります。商品コードを商品カタログでご覧ください。（図41）

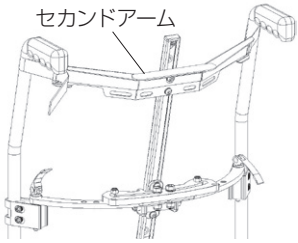


図41：セカンドアームの取り付け

2つの分割バックサポートに2つのアームを取り付けるには、つなぐためのヒンジを使います。この解決法は、標準バックサポートにも同様に適用されます。側彎症のような症状に対しては、つなぐためのヒンジを外すことで、それぞれのバックサポートをもう一方と個別に動かすことができます。（図42）

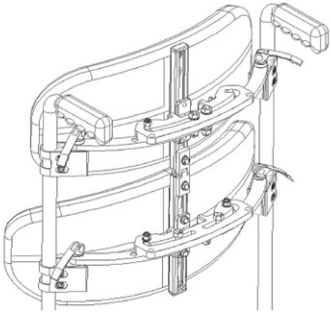


図42：分割バックサポートの取り付け

分割バックサポートが離れている場合に、さらに分割バックサポートまたは標準バックサポートを加えると、上方のサポートに、てこの力が加わります。この場合には、サポートの積みすぎに抵抗するために中央マウントを最大限実用的なポイントまで上げることができます。（図43）

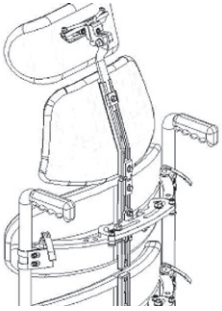


図43：中央マウントの取り付け

最も高いポジションは、中央マウントを反転したポジションで使います。Vトラックアームから中央マウントを外し、アームピボットネジに差込、図で示されているように再び取り付けます。(図44)

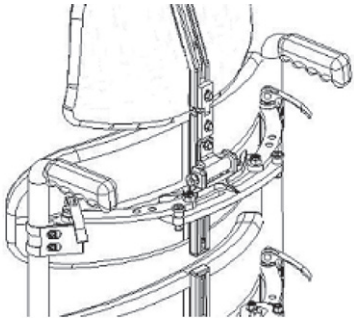


図44：中央マウントの反転

設置ガイドに示されている回転への最大限の抵抗を確保するため、設置テストのために、ピボットネジを25Nm/18.44lbf ft. の最大トルクでしっかり締めます。すべての締め付け箇所に適用される締め付けトルクは、以下の表で示されている数字を超えないようにしてください。

Vトラックシステム締め付け箇所のトルク設定:

締め付け箇所:	推奨: Nm(lbf ft)	最大: Nm(lbf ft)
CMA ピボットネジ	20 (14.75)	25 (18.44)
アームピボットネジ	10 (7.38)	15 (11.10)
取付金具ネジ	10 (7.38)	15 (11.10)
CMA ロックカム	6 (4.43)	10 (7.38)
CMAロックネジ	6 (4.43)	10 (7.38)
高さ設定用ネジ	6 (4.43)	10 (7.38)
接続ヒンジネジ	6 (4.43)	10 (7.38)

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

●最大限の設定を超えると、締め付け箇所が弱くなったり、壊れたり、危険を生じる場合がございます。

5−2　軟部組織と床ずれ

あらゆるシーティング装置に関して、軟部組織について、あらかじめ評価することを考慮するべきです。Vトラックのバックサポートと付属物は、適度な圧の配置と、高くまたは不適切な圧を回避する場所を確保するために、様々なサイズ、形、ポジションと弾性など種類が豊富です。不適切なポジショニングでは、仙骨や肩甲骨のように軟部組織の深さが制限され、特に傷つけられやすい箇所に床ずれを生じる場合があります。

6.安全管理

6−1　安全性のチェックリスト

Vトラックバックサポートの取り付けについて安全で安心な性能を保証するために、以下の指示に従ってください。必要ならば、前のページにある回転力の設定をご参照ください。

1. 両方のピボットネジ（A）をきつく締めます。（図45）

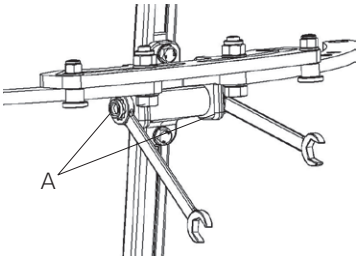


図45：ピボットネジの固定

2. 両方の2つの高さを設定するネジ（B）を固くしめます。（図46）

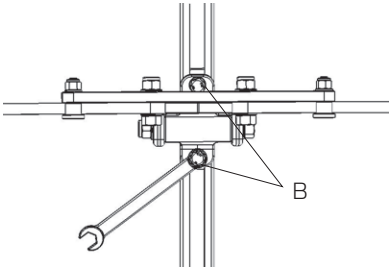


図46：トラックスライダーに固定

3. ロックカム（C）またはロックネジ（D）を必要な位置にセットし、動かないようにします。（図47）

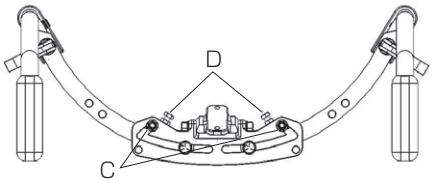


図47：アームの固定①

4. アームピボットネジ（E）とロックレバー（F）をはずすと、システムがロックカムまたはロッキングネジをきつく支えることができます。（図48）

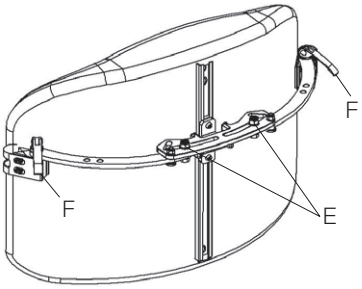


図48：アームの固定②

5. アームピボットネジをきつくしめます。一方では、ロックナットをしっかり締め、セカンドレンチ（W）を使って、アームピボットネジ（G）を固定します。（図49）

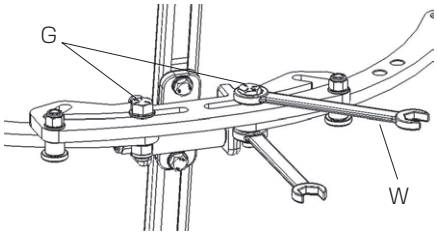


図49：アームの固定③

6. 簡単に外せ、取り替えられるかをチェックします。
7. 必要ならば取付金具の位置を調節します。
8. 取付金具ネジ（H）を均等に、そしてしっかり締めます。（図50）

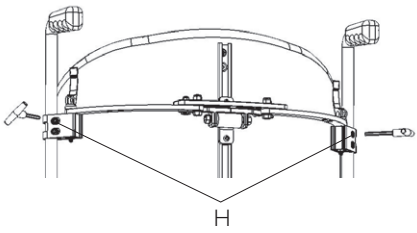


図50：中央マウント／アームの取り外し確認

9. オープントラックの端にトラックエンドキャップ（I）を差し込みます。（図51）

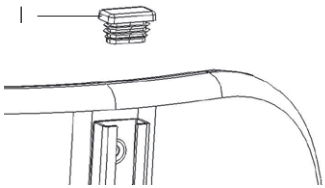


図51：エンドキャップの取り付け

10. ピンロックナットを、示されているように回転させるには、レンチ（J）を使い、必要ならばロックレバーのはずす力を調節します。
11. ロックレバーの実演をして、推奨ポジション（K）でそのままにします。（図52）

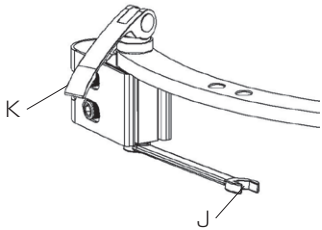


図52：ロックレバーの固定

12. 本書を使用者または介護をされる方へ、お見せください。
13. 本書の3ページの安全上の注意と、4ページの洗濯とメンテナンスの事項にご注意ください。

7. 適合表

7−1　バックサポート選択のめやす

姿勢の様子とバックサポートとの相性を明記したものです。

◎〈優〉ー〈良〉ー△〈可〉の順に相性の良さを表しています。

バックサポート選択時のめやすであり、実際の使用状況とは異なる場合もあります。

姿勢の様子		標準バックサポート ハイバックサポート	分割バックサポート
中度の前彎/後彎		◎	△
腰椎全体の前彎/後彎			◎
中度の胸郭の後彎		◎	△
強度の胸郭の後彎		◎	△
強度の前彎			◎
後彎と前彎			◎
中度の側彎		◎	○
強度の側彎/前彎		△	◎
片麻痺		○	◎

後彎と側彎		△	◎
腰椎前彎と骨盤の前傾		○	◎
左右非対称な後彎 強度の後彎		△	◎
骨盤の回旋		○	◎
脊椎のヘルニア			◎
強い緊張		◎	○
弛緩型		◎	◎
体幹のくびれ、拡大			◎
座奥行きの調整		○	◎

8.保証書

本製品は、当社の品質管理・検査のもとに皆様のお手元にお届けしておりますが、万一商品開封時に不良がございましたら保証規程に基づき無償修理致します。その際は現品に本保証書を添えて弊社またはご購入の販売店までご提出ください。

品名	Vトラック
お客様	ご住所　〒 TEL
	(フリガナ)
	お名前
	お買い上げ日　西暦　　年　　月　　日
販売店名	
保証期間	2年間

●本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
●ご購入年月日、お客様の欄及び販売店名に記載のない場合は、無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちに販売店にお申し出ください。
●この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●商品のご使用中に故障又は不具合が発生した場合、弊社もしくはご購入の販売店までご連絡ください。
●保証期間が過ぎた後の故障等についてご不明の場合、弊社またはご購入の販売店までお問い合わせください。

保証規程

1. 保証期間はご購入日から2年間です。保証期間内に発生した故障については、無償修理致します。
2. 無償修理には、保証書の提出を要します。
3. 次の場合には保証はできませんが、特にご希望の方には実費にて修理致します。
   (1) 保証書を紛失された場合
   (2) 取扱説明書に記載されていない誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造・分解による故障・損傷
   (3) 火災、地震等の天災地変による故障・損傷
   (4) 保証書にご購入日、お客様名の記入のない場合、または不当変更を加えられた場合
   (5) ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷
4. ご相談窓口は、弊社営業所またはご購入の販売店にて承ります。
5. 保証書の保証対象とならない故障および損傷についても弊社の責任に帰する場合は、保証期間にかかわらず、無償修理致します。
   (1) 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
   (2) 保証書の再発行はいたしません。

●輸入・販売元　パシフィックサプライ株式会社
本社営業部 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1　TEL (072) 875-8011　FAX (072) 875-8015

●輸入・販売元

パシフィックサプライ株式会社

大阪営業所　〒574−0064 大阪府大東市御領1−12−1
TEL 072 (875) 8011　FAX 072 (875) 8015

札幌営業所　〒060−0051 札幌市中央区南1条東6-2-12 松浦ビル1F
TEL 011 (218) 5801　FAX 011 (218) 5805

仙台営業所　〒980−0873 仙台市青葉区広瀬町3-3 ハイアット広瀬町102号室
TEL 022 (227) 1820　FAX 022 (227) 1821

東京営業所　〒160−0022 東京都新宿区新宿2−3−12 グレイスビル2F
TEL 03 (3352) 0757　FAX 03 (3355) 3154

名古屋営業所　〒486−0946 愛知県春日井市勝川町西3−5
TEL 0568 (34) 2696　FAX 0568 (34) 2697

広島営業所　〒733−0035 広島市西区南観音7−5−13 ロイヤルシャトー中田1F
TEL 082 (293) 6255　FAX 082 (293) 6299

福岡営業所　〒812−0054 福岡市東区馬出2−2−12
TEL 092 (641) 8151　FAX 092 (641) 0444

http://www.p-supply.co.jp/

販売店

2013.06